

茨城県産業 明日への挑戦

経済活性化へ戦略的に企業誘致

将来の飛躍に向けて挑戦を続ける茨城県産業界。原材料やエネルギー価格の高騰を受けて景気の先行きは不透明感が漂うものの、中長期的な経営基盤強化を見据えた人材育成や、新規事業創出を目指す取り組みが官民で着実に進展している。今回の「茨城県産業特集」では、大井川和彦知事率いる茨城県のメッセー

工業団地開発・補助制度を創設

急激な人口減少をはじめ、物価高騰、頻発化・激甚化する自然災害など、私たちが取り巻く社会情勢は急激に変化しており、乗り越えなければならぬ課題も山積しております。こうした時代の荒波を乗り越えていくためには「生産性」が高く、豊かな経済力のある社会を構築することが不可欠であり、戦略的な企業誘致のほか、高い技術力を有する中小製造業の販路開拓やスタートアップの支援、外国人材の確保・育成など、本県経済の活性化につながる施策に先手先手で取り組んでおります。まず、企業誘致については、知事就任当初から、急激な人口減少時代を見据え、将来にわたる持続的な発展につなげるよう、特に力を入れて取り組み、本県の優れた立地環境である首都圏への近接性や充実した広域交通ネットワークなどをPRするとともに、工業団地の分譲価格の見直しや全国トップレベルの補助制度の創設、約20年ぶりとなる県独自の工業団地開発などにより、戦略的な企業誘致に果敢に取り組んでまいりました。

中小製造業・新興企業の支援強化

次に、中小製造業支援については、企業自らがビジネスチャンスを見つけ、新たなビジネス展開に向けて果敢に挑戦していくことが重要であるとの考えのもと、ものづくり企業とベンチャー企業などの交流会を開催し、新製品開発や受注機会確保につなげてまいります。また、今後成長が見込まれる宇宙ビジネスにおいては、本年10月に、県内ものづくり企業の専門的知識や独自技術により日本の宇宙産業のサプライチェーンに貢献する、宇宙機器に特化した共同受注ネットワークを発足したところであり、各企業の得意分野を活かしながら、受注拡大を促進してまいります。さらに、いばらき中小企業グローバル推進機構とともに、海外への販路開拓を模索する企業への支援を強化しており、先月、ドイツとタイで開催された展示会では、初めての海外展開となる企業など2社の発展を支援し、欧州や東南アジアの企業との商談をサポートいたしました。参加企業からは「自社技術が世界に通用すると実感できた」などの声をいただいたところであり、今後、商談をフォローアップし、販路拡大につなげてまいります。加えて、スタートアップ支援については、つくばや

メッセージ



茨城県知事 大井川 和彦氏

工業などが立地を決定し、茨城中央工業団地(笠間地区)では、ソントン食品工業がジャム、クリーム製品等を製造する新工場建設を決定したほか、ひたちなか地区では、積水化学工業等が「バイオ」のつくりの「研究開発拠点」の立地を決定するなど、多くの企業に本県を選んできたことであります。引き続き、魅力的な雇用の場の創出に向けて、半導体や次世代自動車関連産業などの成長産業をはじめ、利益率が高く、高付加価値な産業への戦略的な誘致活動を展開するとともに、県独自の工業団地「フロンテアパーク坂東」や「常陸那珂工業団地拡張地区」の整備にスピード感を持って取り組んでまいります。



県が出展を後押ししたタイの展示会(茨城県提供)

その結果、県内スタートアップの資金調達額は、昨年度までの5年間で、2018年度までの5年間の3倍超となる約160億円まで拡大するとともに、10億円以上の大型の資金調達を実現したスタートアップが複数誕生するなど、着実に成果が表れております。また、本県では、県経営者協会とともに、スタートアップの優れたサービスや製品の市場への普及拡大を目指す「茨城ベンチャーフレンドリー宣言」を行い、産業界へのマッチングや公共調達などを推進しております。公共調達については、スタートアップに特化した県独自の調達制度を創設し、聴覚障害者向け会議システムや高性能無線LANの導入、特殊塗装による県有施設の修繕を決定したところであり、今後も調運を拡大してまいります。



訪印して現地と交流を深めた(茨城県提供)

このほか、生産年齢人口が急激に減少する中、本県産業の競争力を支える担い手として、意欲と能力のある外国人材を積極的に受け入れていくことが不可欠です。本県では、県内大学や経済団体と連携し、本年8月に「茨城県留学生就職促進コンソーシアム」を設立したところであり、今後、製造業など幅広い業種にお

INDEX	
◇茨城産業人クラブ経済講演会(「100年経営の会」共催)抄録	14・15
◇茨城県の企業立地動向	16
◇大手製造業の地域貢献	17
◇ひたちなか市制30周年・ひたちなか商工会議所設立20周年記念	18
◇茨城県内に広がる共創の輪	19
◇茨城県内8大学トップが語る	20
◇茨城県内国立大学の取り組み(筑波大・茨城大)	21
◇茨城県内金融機関トップが語る	22

伝統と革新の技術力でモノづくりの未来を創造する

「がんばれ日本のモノづくり」

株式会社 廣澤精機製作所 代表取締役社長 柴田 清之
〒300-4297 茨城県つくば市寺貝1331-1 TEL 029-869-1111 FAX 029-869-0113 URL www.hirosawaseiki.co.jp

事業内容

- ・精密金属プレス加工、精密プレス金型設計製作、板金加工、溶接加工、精密部品切削加工・プラスチック成形加工
- ・冷却ファンモーター設計製造販売・高速道路防音板・吸音板設計製造販売・極薄肉溶接ステンレスパイプ製造販売

ZIKURAFAN

モーター事業部

建材事業部

筑波工場 玉戸工場 新城工場 小山工場 上野原工場

関連会社 ■日本アイ・エス・ケイ株式会社 ■育良精機株式会社 ■広沢商事株式会社 ■広沢土地倉庫株式会社 ■学校法人広沢学園 ■下館ゴルフ倶楽部 ■社会福祉法人広聖会

「持続可能な経営モデルとは」in茨城

茨城産業人クラブ経済講演会(「100年経営の会」共催)

理念継承・顧客の信頼獲得・進化へ絶えず挑戦

茨城産業人クラブ(高橋日出男会長)協立製作所(水戸市)で特別シンポジウム(長寿企業イノベーション勉強会)「長寿企業に学ぶ「持続可能な経営モデルとは」in茨城」を100年経営の会との共催で開催。創業100年を超える企業3社が登場し、長寿経営をテーマにパネルディスカッションをした。また基調講演として、茨城県日立市を創業の地とする日立製作所から「日立グループ『創業の精神』の継承と発展」について講演。現地会場とオンライン視聴で計180人以上が聴講した。その様子を紹介する。

社会課題見据え事業化判断 顧客の困り事解決に応える モノづくりを通じ社会に貢献



関氏



増田氏



長寿企業に学ぶ「持続可能な経営モデルとは」in茨城
主催 茨城産業人クラブ、100年経営の会 共催 日立製作所、セキショグループ

曾根 創業理念の継承について伺いたします。まず、関彰商事の関様から。1908年の創業時から時代や環境の変化があった中で、創業者の理念や思いを継承しています。

関 直接教を受けたというわけではありませんが、事業を続ける中で、意識せずとも先代社長の父に影響を受けたと思います。きつた過去のことをきかずに、その上に自分のやり方で挑戦して、新しいものを築いていく。その線

り返してました。曾根 ありがとうございます。日頃から学んできたという点を教えていただきました。続いて日本濾水機工業の橋本様にお伺いします。創業者が業種別で、菌

普及に努めたこと、現代にも通じる社会課題への挑戦にも見えました。その創業理念は、どのように継承されているのでしょうか。橋本 社会をよくしたいという思いは社是の中の「社会文化の向上に寄与するものを作る」に反映されています。当社に入社する社員は、理念に共感し、何らかの形で社会の役に立ちたい思いを持って入社してきます。社内の意識調査では、当社の経営理念に対する共感度の項目が非常に高いです。社員



橋本氏

す。当社の経営理念には、「全社員の幸福を追求する」とともに、お客様の期待を超えるモノづくりをお届けすることで社会に貢献することとあります。これを果たすために「付加価値の高い板金製品とサービスを提供し、お客様の開発・製造課題を共に解決すること」で、社会に貢献してお客様に信頼を得て、成長していきたくと考えています。

曾根 顧客という話。なぜ100年続いているのかという点に関して従業員というところ、あるいは地域社会を網羅されているようなお話かと思いましたが、続いては事業の多角化について教えてください。関 関彰商事はエネルギーから始まり、今は自動車販売や介護施設運営などにも乗り出しています。事業を進める判断軸をお教えください。

関 先代から引き継いだ事業も多いですが、常にその事業が時代や近未来の社会課題に正しく合っているのかを考えています。どの事業を伸ばすのか、どの事業を縮小するのか。会社として変えるべきところと変えてはいけないところを決めて社員に示すことが大事だと思います。また、ファミリービジネスも資本家の立場となるのか、経営に参画するのか、事業執行に就くのかをあらかじめ会社に伝える。事業の進め方や企業理念も含めて考えていきたいです。

曾根 橋本様はいかがでしょうか。橋本 これまで先代たちが築き、機械加工業、プラントエンジニアリング業と発展させてきました。私は地道にお客さまの困り事の解決に向き合ってきた結果

大田区の仲間の職人を招き技術指導を受けたほかM&A(合併・買収)を通じて、お客さまの困り事やニーズを考えたのだと思います。曾根 こちらの話を非常に重要なお話だと思います。経営者の分野で「川上から川下まで」という話があります。一貫体制だからこそ全体を見通せる強さについて勉強できました。続いては現在の課題について伺います。わが国は労働人口不足、あるいは資源高騰などあらゆる業界に共通する社会課題を抱えています。どのように対応されているか教えてください。関 地方企業では特に人手不足が深刻だと捉えています。当社でも直近の新卒採用のエンジニア数は、2021年頃と比較して半分ほど。やはり地方になかなか新卒の方が来ないという課題があります。そのため

増田 私どもも同じく人の問題に困っています。自動化、省力化できる工程に関しては最先端のものを導入しています。私どもは少量多品種の製品を手がけていて自動化が難しい状況です。そこで外国人人材を積極的に活用しています。当社で製造を担当する200人のうち55人は、特定技能や技能実習生です。経験が浅くても使えるような最先端の設備を導入して工夫を重ねています。

パネルディスカッション 登壇者・企業プロフィール

- モデレーター
静岡文化芸術大学教授 100年経営の会顧問 **曾根 秀一氏**
- パネラー
関彰商事(茨城県筑西市)代表取締役社長 **関 正樹氏**
会社概要… 創業1908年。石油類販売、自動車販売、運送業など。第4回100年企業顕彰受賞。
- 日本濾水機工業(横浜市南区)代表取締役社長 **橋本 美奈子氏**
会社概要… 創業1918年。セラミックフィルター・濾過機、水処理装置の製造販売。第4回100年企業顕彰受賞
- 岡田钣金(東京都大田区)代表取締役社長 **増田 武夫氏**
会社概要… 創業1923年。各種産業機器の精密钣金加工。第6回100年企業顕彰受賞



曾根氏

最新設備と職人の技

精密钣金でのお困り事は、岡田钣金の職人が解決します。

設計、精密钣金加工、塗装、組立を自社内一貫生産

岡田钣金株式会社 茨城県小美玉市三箇207-1
Tel 0299-48-2901

HP

「挑戦」と「創造」の油圧機器の専門製造メーカー

コアパーツ及びOEM製品の製造

小型建機用ポンプ ASSY

スプールセット

リリーフバルブ

オプションバルブ

試作から量産までのお手伝いについて

高精度油圧機器の一貫生産

詳しくは、ホームページをご覧ください。

株式会社 協立製作所

茨城工場 〒309-1105 茨城県筑西市三瀬1239 TEL.0296-57-6151(代) FAX.0296-57-9849

地域社会・経済の持続的発展と
労使の安定に貢献します

一般社団法人 茨城県経営者協会
茨城経協 水戸市桜川2-2-35県産業会館11F TEL:029-221-5301

地域と歩み、次代を創る。

SEKISHO
SEKISHO GROUP

関彰商事株式会社
つくば本社 | 茨城県つくば市二の宮1-23-6 ☎029-850-5510

WEBで検索 ▶ セキショウ Q

長寿企業に学ぶ

特別シンポジウム

曾根 ありがとうございます。続いては長寿企業としての自社の強みについてお伺いします。今日まで皆さまの企業が生きてきた最大の強みを表すとしたら、どのような考え方が挙げられるでしょうか。

関 本業から離れた事業に力を入れたことが挙げられます。もちろん事業は多角化していますが、あくまでも本業のエネルギーが軸です。それにお取引先を含め、お客さまに恵まれたという点でも大きな強みです。これから新しいことを始めるとしたら、何をやるかという問いは、今がグループ全体で「どういうお客様とお付き合いをしたいか」を考えます。今後の成長を目指す上で、お客さまとのように出会うかを考えると、



多くの聴講者が講演に耳を傾けた

「自社の棚卸し」で理念再考 関氏

「200年企業」へ世界市場視野 橋本氏

コア事業の板金 さらに進化 増田氏

「自社の棚卸し」を、現在では塗装や組み立てなどの板金加工の関連分野にも注目をしています。お客さまの多様な要望を的確に捉え、応える仕組みを進化させてきたことが私たちの強みであり、存続の力だと考えています。

曾根 貴重なお話をありがとうございました。最後「次の100年」についてお伺いします。これから100年を考えると、どういったところが重要なお聞きがせうか。

関 これから複雑な時代になっていくときに、一つの会社だけでお客さまの課題を解決することは難しく、「どういった会社と一緒に組んでいけばいいか」が大切になると感じています。まずは強みと弱みを明確にして組み合わせを分けていくことが重要だと感じています。

橋本 私が入社した時点で創業から既に90年以上たっていました。100年を迎えるのはもう確実な中で、私は「200年続く企業」を目指しました。当然200周年のときには私は居ませんが、きちんと引き継いで、その時を迎えられる会社になりたいと思っています。当社では「世界に誇るために」自社の棚卸しをしたいと思います。また、お客さまの多様な要望を的確に捉え、応える仕組みを進化させてきたことが私たちの強みであり、存続の力だと考えています。

曾根 橋本様はいかがですか。

橋本 私が入社した時点で創業から既に90年以上たっていました。100年を迎えるのはもう確実な中で、私は「200年続く企業」を目指しました。当然200周年のときには私は居ませんが、きちんと引き継いで、その時を迎えられる会社になりたいと思っています。当社では「世界に誇るために」自社の棚卸しをしたいと思います。また、お客さまの多様な要望を的確に捉え、応える仕組みを進化させてきたことが私たちの強みであり、存続の力だと考えています。

基調講演

日立グループ「創業の精神」の継承と発展

ビジョン体系化 グループ企業で共有

日立オリジンパーク 小平記念館館長 和久井 勇人氏

今年で創業から114年目を迎える日立は、現在売り上げと従業員数ともに6割を海外が占めています。しかし創業のルーツをたどると、弊社は日立鉱山(茨城県日立市)で電気機械の修理をする小さな小屋から始まりました。日立が創業時から大切にしてきた企業理念が「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」です。時代を経ても、自分たちの手で日本のモノづくりや社会に貢献したいという創業者の思いは変わらぬまま受け継がれています。

私たちが企業理念と同じく大切にしているのが日立創業の精神です。創業以来、企業としての発展を支えてきた先人たちが大切に育んできた「和・誠・開拓者精神」。企業理念と創業の精神、これらが日立のあるべき姿を定義した日立グループ・ビジョン。これらは体系化された「日立グループ・アイデンティティ」として600社以上ある国内外のグループ企業と共有されています。

2021年に開館した日立オリジンパークは、日立の歴史と創業の精神を現代に伝える場所。まさに原点です。創業者の思いを美化することなく、そのままの姿で伝えることが、企業として大切にしています。

日立が「第二の創業」として茨城県内で進めているプロジェクト

日立製作所 日立オリジンパーク 協創プロジェクト推進本部 本部長 佐野 豊氏

日立市様と一緒に取り組んでいる共創プロジェクトについてお話ししたいと思います。私たちが「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、社会課題を解決する社会イノベーション事業を国内外で展開してきました。その集大成として、現在、創業の地である日立市とともに「サステナブルなまちづくり」に取り組んでいます。日立市は、さまざまな知見を生かして、人々の利便性や快適性を高めるためにデジタル技術を活用した社会を実現しています。

日立市は、2023年12月21日に日立市と連携協定を締結して始まりました。現在は社会イノベーションの専門人材約100名を参画させ、事業を推進しています。具体例を三つ紹介いたします。まず「グリーン産業都市」です。日立市は脱炭素都市を目指し、50年までに280万トンの二酸化炭素(CO2)の削減を目標としています。

日本全体に目を向けると、人口や地域生産額割合について日立市と同じ特性を持つ都市は、国内で100以上あります。共創プロジェクトを通じて日立市とソリューションや事業モデルを、ほかの地域にも展開することで社会イノベーションの加速を実現していきます。

サステナブルなまちづくりを目指す

エクトは、2023年12月21日に日立市と連携協定を締結して始まりました。現在は社会イノベーションの専門人材約100名を参画させ、事業を推進しています。具体例を三つ紹介いたします。まず「グリーン産業都市」です。日立市は脱炭素都市を目指し、50年までに280万トンの二酸化炭素(CO2)の削減を目標としています。

日本全体に目を向けると、人口や地域生産額割合について日立市と同じ特性を持つ都市は、国内で100以上あります。共創プロジェクトを通じて日立市とソリューションや事業モデルを、ほかの地域にも展開することで社会イノベーションの加速を実現していきます。



パネルとモデレーターの間で活発に意見が交わされた

仕事を通じて障害者雇用に繋がる
お客様の社会貢献に貢献する会社。

株式会社幸手スプリング

〒306-0214 茨城県古河市高野740
TEL: 0280-92-2665 FAX: 0280-92-3473

ハイクオリティ治具のマザーファクトリー

OTSUKA Factory Co., Ltd.
株式会社 大塚製作所

http://ohthuka.co.jp

TOMシミュレーション解析サービスと、
独自のTOM製造技術の提供で、
貴社のカーボンニュートラルに貢献します

株式会社 宏機製作所 https://www.kohki-ss.jp/

ISO 9001 認証取得
ISO14001 認証取得

株式会社 イトウ

代表取締役 佐々木 隆 〒311-4393 茨城県東茨城郡城里町那珂西2270-1
TEL (029)288-5511(代表) FAX (029)288-5517 URL http://www.ito-net.co.jp

アルミダイカスト・プラスチック・FRP成形・電子機器・各種金型

happy maker

NITTOCORP
since 1951

日東電気株式会社

SUNYOU

卓上プラズマエッチング装置

TP-50B

★半導体故障解析用試料の前処理(配線露出)からステージを使用した平坦加工まで幅広く対応致します。

株式会社 三友製作所 テクノセンタ
〒319-1225 茨城県日立市石名坂町 2-43-4
TEL 0294-33-9931 FAX 0294-33-9932
URL http://www.sunyou-ss.co.jp E-mail info-sales@sunyou-ss.co.jp

ISUZU

普通免許で乗れる
ディーゼルトラックです。

だれでもトラック ELF mio

茨城いすゞ自動車株式会社

茨城県水戸市五軒町1丁目2番5号 TEL 029-225-1215

非常用発電装置のリーディングカンパニーとして
歴史を重ねて培ってきた品質を
TSUKUBAから全国へ

そして、次の100年へ。

**NEXT GENERATION,
NEXT STAGE.**

TOKYO DENKI
since 1920

自家発電機器の
株式会社 東京電機
TOKYO ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD.

https://www.tokyodenki.co.jp/

成長分野の県内企業立地が加速 茨城県

交通インフラ充実 ■全国トップクラスの優遇制度

茨城県では、半導体や次世代自動車関連などの成長分野における企業立地が進展している。首都圏に近いことや、高速道路網を中心とした交通インフラの充実などの優れた立地環境が評価されている。全国でもトップクラスの優遇制度が企業の進出を後押ししている。このほど茨城県内では、茨城の産業立地の魅力を伝えるセミナーを開き、計12人が参加するなど企業からの関心の高さも伺える。茨城県の企業立地に注目が集まる。



セミナーに詰めかけた参加者へ茨城県の魅力を自らPRする大井川和彦知事

茨城県は東部郡内のホテル「いなば」を11月21日に開いた。将来的な新工場建設予定地を模索する大手製造業の担当者などが参加した。壇上では大井川知事が「スピード感を重視して民間企業の皆さまの声を聴いていく」とあいさつ。知事自ら企業にトップセールスを行った。先導産業の誘致に向け、半導体業界に焦点を当てたプログラムを用意した。ICT向けの市場調査、データ分析などをとするインフォマーティン（東京都千代田区）の杉山和弘社長は「半導体産業の概要を国の施策や大手IT企業の

都内立地セミナーに512人参加 関心高く

新たな産業用地確保 ニーズに対応

傾向を交えて紹介した。杉山社長は「半導体産業は政府の積極的な投資も後押しして急成長している」と説明。茨城県の半導体関連企業の集積については「10月時点で85社が立地している。人材の集まりやすさが重要、東京との近接性が効いている」と解説した。また茨城県内に工場を構える半導体産業の企業を代表して、レノック研磨材料事業部の近藤誠一事業部長が半導体産業の収益性について、他産業との比較も交えながら講演した。近藤事業部長は「半導体産業は営業利益率が高く高付加価値製品を生み出せる。利潤を次世代投資にも回しやす」と市場の魅力を手話した。このほか県の担当者もさまざまな社会課題の解決に挑んでいる。またパンの器具材などとして使うフライ

ング（詰め物）製造大手の県は企業立地に向けた独自の優遇制度を厚く用意して誘致を促す。半導体や次世代自動車などの成長産業に代って、県外からの本社機能の移転整備に焦点を当てた「本社機能移転強化促進補助」は、建物の建設や設備の購入のための費用の一部を補助する。そのほか立地企業が使う電気については、料金の一部を補助する制度や、課税免除が受けられる特例も企業にアピールする。半導体や次世代自動車などの成長産業以外にも、最近では「積水化学工業が、二酸化炭素（CO₂）を原料とした高付加価値化学品の製品化の実証実験について、ひたちなか市内で2024年1月から着手すると発表した。既につくば市に「先端研究・技術開発の中心地」としてR&Dセンターを持ち、茨城県内でさまざまな社会課題の解決に挑んでいる。またパンの器具材などとして使うフライ

積水化学工業

高付加価値化学品 実証実験

積水化学工業は、社会課題の解決に向けた取り組みを進めている。二酸化炭素（CO₂）から高性能な化学品の原料を生み出す実証実験について、茨城県ひたちなか市内で2025年1月に建設を始める。またつくば市内には研究開発拠点をもち、フィルム型のリチウムイオン電池（LIB）や

カーボンニュートラルに向けたポリマー原料の生産では、ひたちなか市と東海村が共同利用する廃棄物の処理センターの敷地内に実証実験棟を新設する。処理センターが

ら、CO₂の焼却で発生したCO₂が実証実験用プラントに直接送られる。その後は微生物を使いながらポリマー原料に変換して樹脂を作り出す。事業を担当する小野世吾主管研究員は「石油由来の樹脂にはない、生物由来ならではの特性も見えてきた。実用化することで（樹脂の）ケミカルリサイクルが生まれる」と自信を見せる。この高付加価値化学品をはじめとした同社の先端技術を生み出すのが、R&Dセンターだ。実用化が進むヘロプロスカイト太陽電池のほか、樹脂基板の表面処理などに使われる大気圧プラズマの発生装置も手がけた。1987年に前身の応用電子研究所として設置以来、積水化学工業のさまざまな事業領域の発展に寄与してきた。

笠間市に新工場計画

28年4月本格稼働

ソントン食品工業（東京都江東区、石川伸一郎社長）は製菓・製パン向けの業務用フィリングの生産拠点を茨城県笠間市内に新設する。需要の高まりに合わせ、2028年4月の本格稼働を目指す。投資額は土地代15億4000万円、同社生産本部長の上田義宗取締役は「業界シェアを伸ばし、さまざまなお客様へ

新工場の敷地面積は10万平方メートルで、建屋や生産ラインなど具体的な計画は未定。茨城県が用地を整備中で26年3月に土地が引き渡され、その後に着工する。現在製菓・製パン向けの業務用フィリングの主力製品であるフ



先端技術を生み出すR&Dセンター（茨城県つくば市）

ひたちなか市の施設内に新棟建設

ひたちなか市を代表する実証実験の場として選んだ理由について、候補地選定に携わった高島浩之グループ長は「自治体の後押しがあったことが大きい」と振り返る。互いの密なやり取りを通じて、信頼感を得た。将来につながる技術開発を加速させる。

ソントン食品工業

製菓・製パン向けフィリング生産



フィリング製造を続ける石岡工場（茨城県石岡市）

工場（石岡市）と大阪工場（大阪府茨木市）で製造している。これらの生産能力を高めて余力を増やし、現工場の生産設備の更新なども視野に入

『いなば』への立地 都心に近く優遇制度が充実!

成長産業(半導体、次世代自動車関連産業等)の企業様による本社機能の移転や生産拠点の整備に対し、全国トップレベルの補助制度をご用意しています。

② 常陸那珂工業団地拡張地区

◆北関東自動車道ひたちなかICへ約0.5km!
◆東京から最寄り駅まで乗り換えなしで約70分!

所在地:茨城県ひたちなか市新光町
開発面積:約61ha(分譲面積約58ha)

◎優遇制度

- ・電気料金の支払い実績等に応じた補助金(8年間)
- ・契約電力に応じた給付金(毎年)
- ・その他税の課税免除等

都心から 30km~150km

あらゆる産業にとって 絶好のロケーション!

常陸那珂工業団地

宮の郷工業団地

日立市

日立港区

茨城常陸那珂河川区事業用地(F地区)

常陸那珂港区

ひたちなかIC

大洗港区

茨城中央工業団地(2期地区)

茨城中央工業団地(1期地区)

茨城北部工業団地

つくば市

茨城空港

鉾田IC

鉾田

茨城空港テクニカルパーク

北浦複合団地

東関東自動車道水戸線

潮来IC

鹿島港

鹿島臨海工業団地

奥野台工業団地

土浦市

土浦おおつ野ヘルズ

大洗JCT

成田空港

大栗JCT

東京都

首都圏中央連絡自動車道

フロンティアパーク坂東

⑪ フロンティアパーク坂東

◆都心から50km圏に整備中! ◆圏央道 坂東ICへ約4km!
◆圏央道 境古河ICへ約5km!

所在地:茨城県坂東市大字山ほか
開発面積:約70ha(分譲面積:約60ha)
用途地域:市街化調整区域(工業地域並の地区計画を設定)

◎優遇制度・不動産取得税の課税免除・その他、優遇制度あり

◎「立地促進事業」のご案内

茨城県開発公社では企業の皆様の希望に合わせた産業用地等の適地開発・分譲を行います!

茨城県内で「工場等の新規・移転・拡張等」を考えているが、なかなか条件に合う産業用地が見つからない!希望に合う土地を開発して欲しい!
★是非ご相談下さい!

お問合せ先:公益財団法人 茨城県開発公社 企業誘致室 TEL 029-301-7005

◎「茨城県開発公社ビル 賃貸オフィス」のご案内

茨城県庁舎に隣接した絶好のロケーション!!

所在地:茨城県水戸市笠原町978-25
賃貸区画:小スペース 86.72㎡ 364,000円/月(共益費含・税別)
大スペース 183.6㎡ 770,000円/月(共益費含・税別)
★その他物件もご用意しております。

お問合せ先:公益財団法人 茨城県開発公社 施設管理課 TEL 029-301-7003

詳しくは、ネットで検索 **いなばの工業団地** 検索

お問い合わせ先

茨城県立地推進東京統括本部 TEL 03-3243-0845
茨城県立地推進課 TEL 029-301-2036
公益財団法人 茨城県開発公社 企業誘致室 TEL 029-301-7005

大手製造業の地域貢献

茨城県内に立地する大手製造業が、地域貢献を進めている。環境問題への対応や、住民との交流イベントを企画する。重要な製造拠点として長く操業している事業所も多く、地域に根ざした取り組みが活発だ。

日立ビルシステム

日立ビルシステム（東京都千代田区、総合恵晴社長）は水戸事業所（茨城県ひたちなか市）内の自然環境保全に日立製作所と取り組む。事業所内の約20%は緑地帯で、動植物や昆虫など300種以上が確認された豊かな環境にある。環境省が生物多様性を維持する地区を認定する「自然共生サイト」にも2月に認定済



サギ山に散策路を整備し、地表面の明るさを確保する

水戸事業所内の自然環境保全

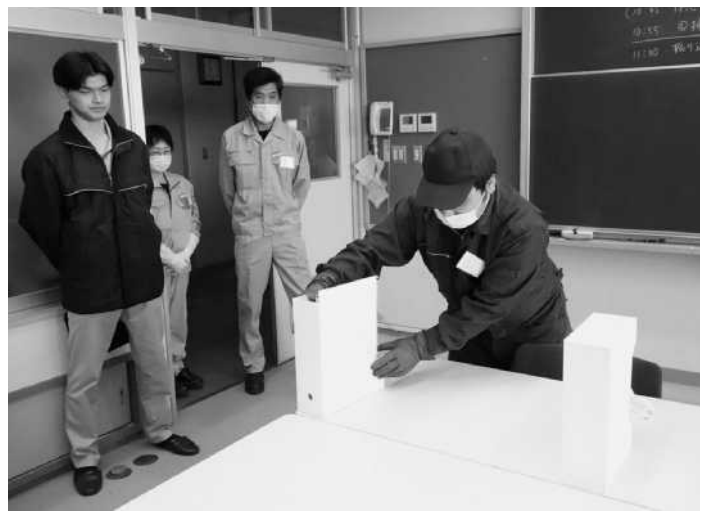
側にある約3万平方メートルの緑地「サギ山」には、水戸事業所を設立した1940年当時から育ってきた樹木などが残る。緑地の維持や保全計画は、従業員の有志団体「日立水戸サギ山クラブ」が担う。日立ビルシステムと日立製作所の従業員約20人が参加。活動日は明確に定めず、必要に応じてメンバーが集まる。外部の環境コンサルタントとともに植生の調査や遊歩道の整備をする。従業員の家族を招待したイベントなども開き、楽しみな活動がある。同クラブに設立当初から参加する日立ビルシステムの若田龍一郎（代表）は「ツルマ感」を出す、あくまでも



エレベーター実験棟の麓の「サギ山」に集まる「日立水戸サギ山クラブ」のメンバー

JX金属

JX金属が障がい者の社会生活を後押ししている。このほど、磯原工場（茨城県北茨城市）の社員らが茨城県立北茨城特別支援学校を訪ね、知的障がいを持つ生徒に対し、より良い清掃の方法を伝授した。学校との連携も深めて、地域貢献を進める。同校で清掃の社会人講師を務めるJX金属コーポレ



JX金属の社員らが見守る中、生徒たちは清掃に励んだ

トサービス（東京都港区）の松崎雅明氏は「一生懸命に学ぼうとする姿が見えてうれしく」と顔をほころばせた。高等部3年生の11人が参加し、テール拭きや掃除機のかき方を学習。JX金属の社員が見守る中、生徒は一人ひとりを動かして清掃に取り組んだ。テール拭きでは、直線を意識して拭き残しがないようにすることなど、コツも体得した。両者の連携は、卒業生がJX金属コーポレートサービスに就職したことをきっかけに2022年から始まった。横山さみ校長は「どの生徒

特別支援学校で生徒に清掃法を伝授

J2水戸に協賛

日上市でサッカーフェス水戸ホーリーホックとトッポパートナー契約を結んでいる。当日は水戸ホーリーホックとJ3大宮アルディージャとの親善試合を実施。日上市民ら1628人がイベントを楽しんだ。試合は2対0で水戸ホーリーホックが勝利した。キッチンカーなどが出展したほか、小学生向けサッカー教室を開いた。JX金属日立事業所長の相場玲宏執行役員は「スポーツの力を発揮してほしい。日上市は創業の地。重要な場所だ」と強調した。また水戸ホーリーホックの小島社長は「多くの市民が楽しんでいる姿が見えた」と笑顔を見せた。



日上市内で開いたサッカーフェス（左から2人が相場玲宏日立事業所長）

にとつても、清掃は就業先や日常生活に必要な能力。教員も机の運び方など勉強強めていく方針だ。

になることが多い」と強調する。今後も相互の連携を強めていく方針だ。

日立建機

日立建機は土浦工場（茨城県土浦市）で、「第17回日立建機フェスティバル」を開いた。工場を地域住民に公開し、油圧ショベルやホイールローダーなどの展示・操縦体験会を通じて日頃の感謝を伝えた。家族連れなど計6500人が訪れ、秋の休日を楽しんだ。目玉の双腕仕様機「アスタコ」の実演では、事前に会員制交流サイト（SNS）の投票で選ばれた参加者に



アスタコの手入れ勝負

地域向け工場イベント開催

者との「玉入れ勝負」を行った。アームの先端にカゴを準備し、そのかごに向けて参加者はボールを投げ入れた。かご内の基準線を越えてボールが入り、参加者が勝利した。このほか、地域の物産・軽食販売や子ども向けにキャラクターショーを開いた。土浦工場は敷地面積49万4000平方メートル、中型油圧ショベルを国内外向けに量産している。

コマツ

コマツは茨城大学とともに、実証研究で収穫したコマツを茨城県内の福祉団体に寄贈した。経済的に困難する人への援助が目的。寄贈を受けたボランティア団体 am i seed の清水直子代表は「2024年はコマツが高騰して困っていた。県内の施設が、この寄贈米に助けられている」と笑顔を見せた。コマツと茨城大学は農業ブルドーザーを使った稲作の省力化について、茨城県稲作で「乾田直播水稲栽培」を実証研究している。ブルドーザー前部のプレードで農地を平坦にし、後部を直接農地にまく。従来の種子をトレーで育てて田植えする手間を省き効率化できる。実証で収穫したコマツ7トンを県内44団体に寄贈した。同大の黒田久雄教授は「20年後の農業人口は現在の5分の1ほどになる。1農家当たりの生産性を5〜10倍に引き上げなければ」と持続可能な農業の実現に向け決意を示した。



茨城大学阿見キャンパス（茨城県阿見町）で開いた贈呈式（右から2人が黒田教授）

稲作福祉施設に収穫米寄贈

実証研究で収穫したコマツを茨城県内の福祉団体に寄贈した。経済的に困難する人への援助が目的。寄贈を受けたボランティア団体 am i seed の清水直子代表は「2024年はコマツが高騰して困っていた。県内の施設が、この寄贈米に助けられている」と笑顔を見せた。コマツと茨城大学は農業ブルドーザーを使った稲作の省力化について、茨城県稲作で「乾田直播水稲栽培」を実証研究している。ブルドーザー前部のプレードで農地を平坦にし、後部を直接農地にまく。従来の種子をトレーで育てて田植えする手間を省き効率化できる。実証で収穫したコマツ7トンを県内44団体に寄贈した。同大の黒田久雄教授は「20年後の農業人口は現在の5分の1ほどになる。1農家当たりの生産性を5〜10倍に引き上げなければ」と持続可能な農業の実現に向け決意を示した。

JX金属 advertisement featuring a woman's face and a character named 'Copper Fairy' (銅の妖精) with the slogan '銅って未来... キュン!' and '銅で未来にときめきを。 JX金属'.

HITACHI advertisement with the slogan '次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。' and 'HITACHI Inspire the Next'.

株式会社日立リアルエステートパートナーズ 取締役社長 田中 憲一 本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1 ☎ 03(3295)8981(代) 茨城支社 〒317-0073 日立市幸町1-20-2 ☎ 0294(25)1269(代)	日立埠頭株式会社 取締役社長 家次 晃 〒319-1222 日立市久慈町1-3-10 ☎ 0294(53)4111(代)	株式会社日立ドキュメントソリューションズ 取締役社長 瀧川 龍一郎 本社 〒135-0016 江東区東陽6-3-2 イースト21タワー ☎ 03(3988)1791(代) 茨城総括事業所 〒316-0023 日立市東大沼町4-1-3 ☎ 0294(36)3111(代)	日立アプライアンステクノサービス株式会社 取締役社長 鈴木 好博 〒316-8502 日立市東多賀町1-1-1 ☎ 0294(36)9600(代)	株式会社日立産業制御ソリューションズ 取締役社長 上田 元春 東京本社 〒110-0006 東京都台東区秋葉原6-1 秋葉原大栄ビル ☎ 03(3251)7200(代) 茨城本社 〒319-1221 茨城県日立市大みか町5-1-26 ☎ 0294(53)6115(代)
株式会社日立テクノロジーアンドサービス 代表取締役 矢瀧 年隆 〒300-0013 土浦市神立町6003 ☎ 029(831)4158(代)	株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス 取締役社長 稲野 辺 剛 〒312-0033 ひたちなか市市毛1040 ☎ 029(276)6340(代)	株式会社日立プラントコンストラクション 取締役社長 久持 康平 本社 〒170-8630 豊島区東池袋3-1-3 ワールドインポートマートビル ☎ 03(3988)1791(代) 茨城事業所 〒317-0073 日立市幸町3-2-2 ☎ 0294(55)7188(代)	株式会社日立ICTビジネスサービス 代表取締役社長 松浦 康裕 本社 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-1-2 ☎ 045(871)2347(代) 日立事業所 〒317-0073 茨城県日立市幸町1-20-2 ☎ 0294(87)8150(代)	茨城産業人クラブ 会長 高橋 日出男 〒310-0015 水戸市宮町2-3-2 富士ビル8F ☎ 029(221)6400

ひたちなか市制30周年 ひたちなか商工会議所設立20周年

今とこれから



事業承継 M&Aも含めて支援

ひたちなか商工会議所
会頭
柳生 修 氏

「企業支援が手厚い。日常的に生まれる小さな相談から、事業承継などまで幅広く取り扱う。特に19年の新型コロナウイルスの蔓延で中小企業の経営が打撃が大きかったタイミングでは、会員企業の補助金や助成金の申請などをサポートしてきた。会員数を増やすだけでなく、会員

地域ブランド 認知拡大

遊するサイクリングイベントの運営や、地元の花火大会の支援などを行っている。地域全体が盛り上がる事業にしたい。20周年を迎えて見えてきた課題は、「会員企業の経営者の高齢化と後継ぎ不足が大きい。事業停止と同時に商工会議所を抜ける企業も少なくない。事業承継やM&A(合併・買収)も含めて支援する。必要があれば、損失の少ない事業の、上手な畳み方も教える。近年は物価上昇も著しい。飲食店や製造業は価格転嫁に苦労している話を聞く。定量的な情報も使いながら、適切に利益の出せるように支援したい」



ひたちなか市長
大谷 明 氏

自立と協働のまちづくり推進

「ひたちなか市の経済の特色は、農業と水産業、工業がバランスよく発展している。特産品である干し芋や、近年漁獲量が増えている伊勢エビなど、地域ならではの豊かな資源を観光事業と結びつけてPRし、地域全体の魅力向上を推進している。また、大手から中堅・中小企業までモノづくり企業が集積している。大

地域全体の魅力向上

「まちづくりを意識している」とは、「市民に『シビックプライド』を持つてもらえるような施策に取り組んでいる。また、住む人だけでなく、仕事で通う人や観光で訪れる人なども含め、市のファンになるようにしたい。2010年に制定した『ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例』を最高規範として、住民主体のまちづくりを進める。次期総合計画策定に向けて、民間のマーケティング手法を活用し、市民ニーズを調査・分析することで行政課題を明らかにしている。市政の基本方針を示す総合計画は、26年度から始まる第4次計画の策定に向け、市民とワークショップを重ねている。市民の言葉の背後にある状況や言葉にできない本質的なニーズをくみ取り、計画に反映させる。また、市民の主観的評価に加え、他自治体との比較など、客観的評価を取り入れ、総合的に評価・分析する手法の導入を検討している」



茨城港、内外物流の結節点

「ひたちなか市は、人口約15万人で、面積101.02平方キロの自治体だ。1994年11月に勝田市と那珂湊市が合併して誕生した。市の東部は太平洋に面し、大型の貨物船やクルーズ船が寄港する茨城港常陸那珂港区、海鮮食材を産出する那珂湊おさかな市場を持つ。国営ひたち海浜公園や大型商業施設も建ち並び、休日には多くの人が訪れる。モノづくり企業が集積しており、常陸那珂港区臨港地区には日立建機常陸那珂臨港工場、コマツ茨城工場、西部には日立製作所水戸事業所、日立ハイテク那珂事業所、さらに、これらの工場に部品を供給する中堅・中小企業が多く立地している。市東部では、茨



ひたちなか商工会議所の経営相談会の様子

モノづくり・農水産業…多様な産業が発展

「市民に『シビックプライド』を持つてもらえるような施策に取り組んでいる。また、住む人だけでなく、仕事で通う人や観光で訪れる人なども含め、市のファンになるようにしたい。2010年に制定した『ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例』を最高規範として、住民主体のまちづくりを進める。次期総合計画策定に向けて、民間のマーケティング手法を活用し、市民ニーズを調査・分析することで行政課題を明らかにしている。市政の基本方針を示す総合計画は、26年度から始まる第4次計画の策定に向け、市民とワークショップを重ねている。市民の言葉の背後にある状況や言葉にできない本質的なニーズをくみ取り、計画に反映させる。また、市民の主観的評価に加え、他自治体との比較など、客観的評価を取り入れ、総合的に評価・分析する手法の導入を検討している」

茨城県の中央部に位置するひたちなか市が、11月、合併による誕生から30周年を迎えた。県内有数の観光資源を抱えながら、大規模な工業団地には大手・中堅企業が数多く立地する。県庁所在地の水戸市とも隣接し、ベッドタウンとしても知られる。また自治体の合併で誕生したひたちなか商工会議所も、4月で設立20周年となった。市内事業所の75%が入会する商工会議所で、手厚い企業支援が強い。それぞれのトップに現在の取り組みや今後の方針を取材した。

「ナカノカタチ2024-2033」を策定して、人々の企業が輝く地域社会の実現に向けて活動する。近年は観光産業にも力をいれ、19年には日本商工会議所の「全国商工会議所きり輝き観光振興大賞」で大賞を受賞した。既存会員のサポートに加えて地域の創業支援スクールなども進め、多面的な地域振興に取り組む。

伝統×進化

私たちがだからできる
铸造がある

株式会社伊藤鑄造鉄工所
茨城県那珂郡東海村村松3129番地43 TEL 029-306-0030 (代)

リチウムイオン電池用ロールプレス機

板端のシワ伸ばせませす

レンタル出来ませす

全固体電池用低露点圧延機

大野ロール株式会社

株式会社 菊池精器製作所

Kikuchi Precision Instruments

ハイテク製品を一貫生産

超精密切削加工

株式会社 エムテック

https://m-tech61.com/

短納期対応 総合化試作工場

NISINO 株式会社 西野精器製作所

〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光町 552-84
TEL 029-265-9595 FAX 029-265-9090
http://www.nisinosiseiki.com

グレーティング式マルチマイクロプレートリーダー

SH-9500Lab

コロナ電気株式会社

SHINNETSU

工業用シーズヒーターの設計、製造、販売を自社工場で一貫して対応。

新熱工業株式会社

Leading 株式会社リーデン

建設機械部品の製造・販売 産業機械部品の製造・販売
農業機械部品の製造・販売 電気・電子部品の製造・販売
ワイヤーハーネスの製造・販売

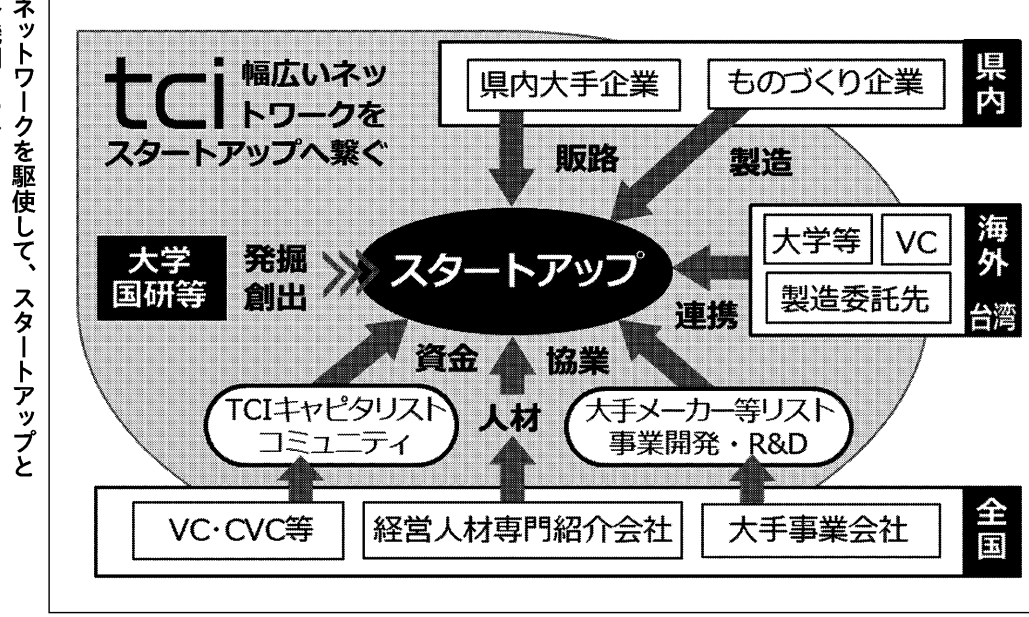
株式会社リーデン

茨城県内に広がる共創・イノベーション

茨城県内では、モノづくり企業や研究機関が多く立地する利点を生かした共創の輪が広がる。県や支援機関が繋ぎ役となり、イベントやセミナーを通じて交流を深める。スタートアップが成長する土壌を作り、技術革新を促す。



つくば市内で開いた交流会



つくば研究支援センターの成長を後押しする。茨城県つくば市、箕輪 浩徳社長は、スタートアップのワンストップ窓口（VC）と接点を持つ。研究機関や企業、行政などと連携し、地域活性化に貢献する拠点を狙う。施設提供や交流会、ピッチイベントの企画運営、専門の支援員の助言などを通じて、スタートアップの成長を後押しする。

さまざまな連携を通じて成長を後押し

茨城県

県が実装事例の先駆者に

茨城県はスタートアップのエコシステム（生態系）形成を推進している。研究機関が多く立地し、スタートアップを中心にスタートアップが生まれやすい環境にあることを生かす。県がスタートアップのサービスを公共調達に採用したり、地元製造業との交流会を開いたりして、地域経済への波及効果を狙う。

6月に県が始めた「茨城ベンチャーライアル優良商品等創出事業者認定制度」は、認定スタートアップの公共調達を優先し、スタートアップの自立製作所をはじめとする大手メーカーの下請けとして技術を提供してきた中堅・中小モノづくり企業を支援する。第1回で9社を認定した。8月には筑波大学のピクシター

茨城県はスタートアップのエコシステム（生態系）形成を推進している。研究機関が多く立地し、スタートアップを中心にスタートアップが生まれやすい環境にあることを生かす。県がスタートアップのサービスを公共調達に採用したり、地元製造業との交流会を開いたりして、地域経済への波及効果を狙う。

6月に県が始めた「茨城ベンチャーライアル優良商品等創出事業者認定制度」は、認定スタートアップの公共調達を優先し、スタートアップの自立製作所をはじめとする大手メーカーの下請けとして技術を提供してきた中堅・中小モノづくり企業を支援する。第1回で9社を認定した。8月には筑波大学のピクシター

モノづくりの力も生かして貢献

つくば研究支援センター 資金調達支援とシーズ発掘を加速

近年は事業化前のシーズの発掘にも注力する。各研究機関が集積するつくば市では、社会課題の解決に繋がる可能性を持った技術が数多く眠っている。5-6月に開いた「第5回TCIベンチャーアワード」では、シーズ部門を新設した。技術シーズの社会実装などを通じ、スタートアップのエコシステム形成をサポートする。

近年は事業化前のシーズの発掘にも注力する。各研究機関が集積するつくば市では、社会課題の解決に繋がる可能性を持った技術が数多く眠っている。5-6月に開いた「第5回TCIベンチャーアワード」では、シーズ部門を新設した。技術シーズの社会実装などを通じ、スタートアップのエコシステム形成をサポートする。



日立地区産業支援センター オープンイノベーションを促進

日立地区産業支援センターで開かれた中小企業とスタートアップ（HITS）、茨城県（HITS）が交流するイベント。北地域を対象に中小企業に協力した。さまざまな取組で、地域産業の活性化に貢献する。年間500回以上の企業訪問や展示会の共同開催、セミナーを実施している。近年はオープンイノベーションの促進にも力を入れている。11月には日立市内

日立地区産業支援センターで開かれた中小企業とスタートアップ（HITS）、茨城県（HITS）が交流するイベント。北地域を対象に中小企業に協力した。さまざまな取組で、地域産業の活性化に貢献する。年間500回以上の企業訪問や展示会の共同開催、セミナーを実施している。近年はオープンイノベーションの促進にも力を入れている。11月には日立市内

中小企業の新たな可能性を引き出す

創業60年以上の機械加工専門屋が手掛ける『超人工衛星用製品』の開発

ものづくりをベースとしたワンストップサービス

構造解析・熱解析・設計加工・組立・治具設計製作 耐久試験・検証まで対応

SCS資料 DLはこちら

KIKUCHISEIKI CO.,LTD.

新規導入の横中ぐり盤 最高峰の主軸径サイズで深物、多面加工の生産性を向上

主軸φ150の3段変速により高トルクを実現し、強力な重切削可能 深穴加工や精密な角度精度を求める加工にも柔軟に対応

DAIMARU STEEL INDUSTRY CORPORATION. 大丸鐵興株式会社

〒306-0432 茨城県猿島郡町下小橋 867-8 TEL0280-87-8611 https://www.daimaru-tekko.co.jp https://www.tiktok.com/@tappe_daimaru

明和電気株式会社

代表取締役社長 明智 健太郎

http://www.meiwadenki.com/

設計・製作品目 自動機操作制御盤/集中管理自動システム/ソフトウェア設計・開発 〒318-0004 茨城県高萩市上綱字上原3227-1 TEL.0293(22)4121(代表) FAX.0293(23)1613

tci Start-Up Support 新事業の創出を応援します

株式会社つくば研究支援センター

茨城県つくば市千現 2-1-6 TEL029-858-6000

デジタル化による地域活性化・組織変革・人材育成 ご相談下さい

株式会社 アイ・コネクト

l-connect http://www.i-connectwork.com MAIL:info@i-connectwork.com

TAKAHASHI KIKAI 1962

NC CAD-CAM ROBOT SYSTEM HANNAI

E-mail sougo@takahashi-kikai.co.jp

本社 〒316-0002 茨城県日立市桜川町3-15-6 ☎0294-36-1288ℓ FAX 0294-37-1102 営業所：北茨城マシナプラザ 那珂営業所 つくば営業所 厚木営業所 千葉営業所 大阪営業所 山口出張所

日本最大級の環境試験設備 <筑波宇宙センター 環境試験設備等の運営・利用拡大事業>

筑波宇宙センターの環境試験設備(18設備) 建屋(10建屋)および敷地を使用して宇宙分野に限らず様々な分野の環境試験機能・性能試験および検証試験を行います

AES 株式会社 エイ・イー・エス

〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1 TEL029-855-2001 FA X029-855-9815 HP: http://www.aes.co.jp/

試料加工によるダメージを最小限に抑えた断面仕上げ

断面観察用 試料作製ツール

Point 1 クラック・剥離のない高品質な断面加工 → イオンミリングの加工時間を大幅短縮!

Point 2 軽量&コンパクトな設計 → グローブボックス内でも作業性抜群!

CASE

- ✓ 試料作製作業が属人化せず標準化が可能
- ✓ 全固体電池をはじめ、脆弱性試料を割れ・クラックなく加工
- ✓ 観察結果の信頼性・開発スピードの向上

NOGAMI 株式会社 野上技研 茨城県常陸大宮市泉 1136-3

まずは、ご相談ください! ☎0295-53-2109 ● support@nogami-gk.co.jp ● https://www.nogami-gk.co.jp

筑波大学

永田恭介学長

冒険する大学へ — Next50への挑戦 —

昨年、開学50周年を迎えた本学は、次年度の50年(Next 50)を見据え、社会の要請の先へ踏み出し、未来を創造する「冒険する大学」として進化させる。

社会課題解決の基礎は研究推進である。今年4月、米国立シカゴ大学、NVIDIA、AmazonとAI分野でのパートナーシップを締結した。共同研究や人材育成などを進め、本学に「超」の要素を形成し、地球規模課題の解決に貢献する。企業との連携を本学に招聘し、基礎研究からビジネス創出までを一貫して行う施設(IMAGE FUTURE)の建設も予定しており、研究成果の社会実装を通じた社会との共創に取り組む。

質の高い教育は未来への礎となる。本学では、PB



AIパートナーシップ調印式の様子

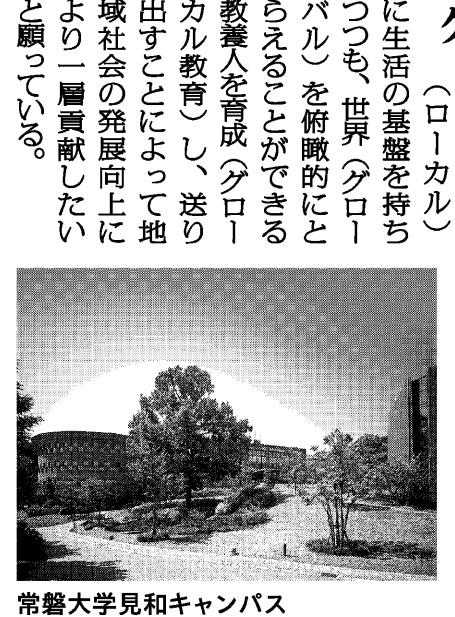
常磐大学

富田敬子学長

グローバル教育を通じて更なる地域貢献を目指す

1983年の創立以来、常磐大学は、「実学を重んじ真摯な態度を身に付け人間を育てる」という建学の精神のもと、時代の要請に応じ、時代の要請に即した課題解決型の教育を提供してきた。

入学生の約9割が茨城県内の高等学校等から入学し、卒業生の約8割が茨城県内の企業等に就職している。地域の人材を積極的に受け入れて送り出す「循環型の教育」を通じて、地域社会に貢献して



常磐大学見和キャンパス

日本国際学園大学

橋本綱夫学長

「日本国際学園大学」開学

2024年4月に名称を新たに、「日本国際学園大学」としてスタートした。つくばと仙台の2キャンパス体制で新しい学びを創造していく。

本学は、入学後すぐの海外研修を始め、海外体験、海外留学の機会を得られるよう海外研修プログラムを充実させていく。



日本国際学園大学のつくばキャンパス

流通経済大学

片山直登学長

サプライチェーンの未来を切り拓く

流通経済大学は、「実業に強い人材の育成」という建学理念のもと、「実学主義」「教養教育」「少人数教育」を柱に、学生が自ら目標を掲げ、達成する力を育て、教育環境を提供している。

2025年に開学60周年を迎えるにあたり、実学主義への取り組みをさらに深化させる。



物流特別シンポジウム

茨城県主要8大学学長が語る 地域との共創

茨城大学

太田寛行学長

地域の価値を創出する新たなチャレンジ

創立75周年を迎え、未来へ向けた新たなチャレンジを進めたい。

まず、学生たちの「こころなれ」という願いに寄り添った教育・学生生活の統合的支援を行う拠点として「イノベーション・サクセスセンター」を新設した。

加えて、新たな学部・学部の創設や、40名の地域未来共創学環を開設。この学環では、文理横断でビジネス、データサイエンスなどを学んだ学生たちが、3



学生と語る太田学長(左から2番目)

茨城キリスト教大学

東海林宏司学長

4つの目標に基づく地域活性化とグローバル化の推進

今年4月の学長就任にあたって、4つの目標を掲げた。

「コミュニティ」再構築。「コロナ禍により生じた人間関係の希薄化の解消を図る。まずは本学内のエネルギーを強化し直し、学環内中高や子ども園との関係も再点検し、総合学園としてのメリットの創出の取り組みを力強く進めていく。その体制がよ



正門から見た茨城キリスト教キャンパス

筑波技術大学

石原保志学長

ダイバーシティ&インクルージョンを推進する大学

我が国で唯一の障害者のための大学である。学部学生は入学資格として、聴覚または視覚に障害があることを要件としている。

2025年度から新学部「共生社会創成学部」がスタートする。同学部は、障害のある学生が社会で生きていく力を身に付けること、職業分野を中心に、卒業生が社会で活躍すること、真にインクルーシブな社会を構築すること、多様な分野で社会との共創を図っていく。



新学部(共生社会創成学部)の模擬授業の様子

茨城県立医療大学

阿部慎司学長

心に寄り添い多職種連携が実践できる医療専門職の育成

本学は「心の通い合う医療の実現」を理念に、地域社会において広く活躍できる高い医療専門職の育成を目的として、1995年4月に開学し、2025年に開学30周年を迎える。

本学の特徴として、単科の公立保健医療系大学として全国でも唯一のリハビリテーションを主とする付属病院を有しており、質の高い臨床実習の実践の場・臨床研究の場を確保すること、



茨城県立医療大学のキャンパス

現代のからくり工房

ロボット・パーツメーカー

からくりで未来を創る

不可能を「可能」へ。困難な手作業を「自動化」へ。私たちはあらゆる課題も解決してきた自信とノウハウがあります。

産業ロボット・計測システム・パーツメーカー

お問い合わせ TEL.0294-52-6981(代) FAX.0294-52-3640 E-mail: info@tmp-jp.com

詳しくは http://www.tmp-jp.com/

代理店 募集中

iTime

新・勤怠管理システム

今の勤怠管理 満足してる?

茨城県庁 6,500 人の働き方見える化システムとして活用中

- 紙の日報を廃止し、ペーパーレスを実現
- リアルタイムに、従業員の働き方見える化
- iTimeの蓄積データにより、経営分析や業務改善に活用可能

株式会社富田製作所 会社紹介ムービー公開中 https://tomita-s.jp

【TEL】0120-00-2270 [E-mail] product@all-appreciate.com

HIRANUMA

Our Vision

手動から自動へ、そして分析で悩まない世界へ

—自動滴定装置と水分測定装置のパイオニア—

自動滴定装置COM-28

HIRANUMAは水戸ホーリーホックのサポートカンパニーです。

株式会社HIRANUMA 茨城県水戸市元吉田町1739 https://www.hiranuma.com/

HIRANUMAは茨城ロボットの01カンパニーです。

茨城県内国立大学の取り組み

茨城県内の国立大学の動きが加速している。先行き不透明で将来の予測が困難な現代に研究や教育で社会課題の解決を目指している。また茨城県は全国で唯一、総合国立大学を2校かかえる。それぞれの強みを生かしながら、周辺地域をはじめ国内外に広くインパクトを与える。各大学の最近の動きを取材した。



都内にサテライトオフィスを開設した茨城大学の田代寛行学長

茨城大学

スタートアップ創業支援

茨城大学は、スタートアップの創業支援に取り組み、6月東京都内にサテライトオフィスを開設した。環境を整備する。研究成果の社会実装として、スタートアップ支援をすべく、同大が認定した茨城スタートアップの件数は現在10件だ。スタートアップの創出を担う生や教職員が創業しやす

都内にサテライトオフィス開設



活発な意見交換がされたサイエンスアイデアソン

茨城大学は、スタートアップの創出に動き始めたのは18年頃から。全学的な研究推進と産学連携、スタートアップ支援を担う司令塔としてIRICを設置したことがきっかけだ。学内の研究成果の特許出願の規則、ストックオプションの取り扱いなど、

筑波大学

スタートアップ創業支援

つくばチャレンジ

総合気候変動科学をひらく。

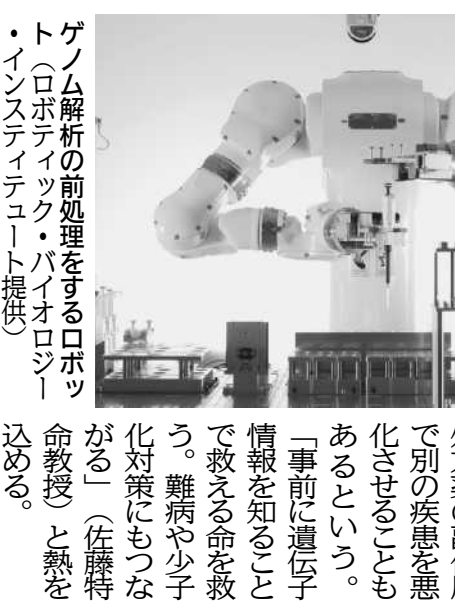
筑波大学は、スタートアップの創業支援に取り組み、6月東京都内にサテライトオフィスを開設した。環境を整備する。研究成果の社会実装として、スタートアップ支援をすべく、同大が認定した茨城スタートアップの件数は現在10件だ。スタートアップの創出を担う生や教職員が創業しやす

筑波大学は、スタートアップの創出に動き始めたのは18年頃から。全学的な研究推進と産学連携、スタートアップ支援を担う司令塔としてIRICを設置したことがきっかけだ。学内の研究成果の特許出願の規則、ストックオプションの取り扱いなど、

つくばチャレンジは、筑波大学が主催するスタートアップの創出を支援する取り組み。今年度は、12月8日につくば市内で開かれた。つくば市が事務局を務める。つくばチャレンジ実行委員会が主催。複数の課題をこなしながら、先走を目指した。実行委員長を務める筑波大の大矢久教授は「ここで学んだことが、社会のさまざまな技術要素に生かされることを願う」と意気込む。

茨城大学は創立初期から環境の研究に取り組み、気候変動の分野の研究・教育をリードしてきました。そして2025年4月、茨城大学の環境・エネルギーに関する新たな拠点として、バイオテクノロジーで温室効果ガスの削減と食料生産の両立を目指すグリーンバイオテクノロジー研究センター(Gtech)を開校します。地球・地域環境共創機構(GLEC)、カーボンリサイクルエネルギー研究センター(CRERC)、原子科学研究教育センター(RECAS)とGtechを合わせた4つのセンターを柱に、茨城大学が世界的な強みとする「総合気候変動科学」の創出に取り組んでいきます。

ゲノム解析

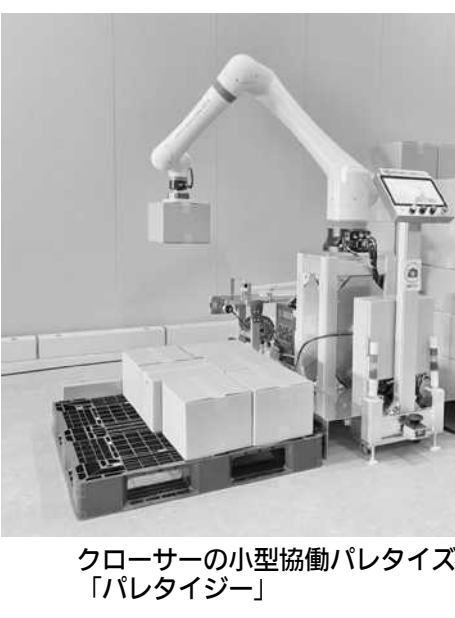


ゲノム解析の前処理をするロボット(ロボティクス・バイオロジー・インスティテュート提供)

疾患リスク回避・軽減

筑波大学付属病院のつくば予防医学研究センターは、遺伝子情報を使って疾患のリスク回避や軽減に取り組む。学内にゲノム情報を解析できる設備を持ち、被験者はフラスコで検査を受けられる。解析を担当するアプリケーション・メディスン開発研究センターでは、これまでに計1万人以上の遺伝子を扱ってきた。同開発研究センター長の

スタートアップ



クローサーの小型協働パレタイズロボット「パレタイジ」

小型産業用ロボットで起業

筑波大学から社会課題の解決を目指したスタートアップが生まれている。高度な研究を生かして、成果を社会実装させる。同大発スタートアップは、10月1日時点で計244社にのぼる。2022年時点の国内大学別スタートアップの数は東京大学と京都大学、慶応義塾大学に次ぐ4位だった。小型産業用ロボットの普及を目指すCioser(クローサー)、茨城県つくば市、樋口翔太社長も、その一つだ。ロボット導入があまり進ん

つくばチャレンジ



当日は73台が走行し、14台が完走した

公道で自律走行ロボット実証

筑波大学から生まれた実証実験が、社会課題解決への一歩へつながっている。公道で自律走行ロボットの実証実験イベント「つくばチャレンジ」が、12月8日につくば市内で開かれた。つくば市が事務局を務める。つくばチャレンジ実行委員会が主催。複数の課題をこなしながら、先走を目指した。実行委員長を務める筑波大の大矢久教授は「ここで学んだことが、社会のさまざまな技術要素に生かされることを願う」と意気込む。

TOKYO GAS

東京ガス株式会社 茨城支社

〒305-0817 茨城県つくば市研究学園2-1-2

TEL:029-848-5161 <https://www.tokyo-gas.co.jp>

熱と計測のシステムエンジニアリング

Nimblox

助川電気工業株式会社

茨城県高萩市上手綱3333-23

TEL0293-23-6411 FAX0293-22-2909

<https://www.sukegawadenki.co.jp>

TGD つくばゲノムドック

Tsukuba Genetics & Genome Dock

遺伝情報を活用し、より健康な未来へ

「ゲノムドック」は、個人が生まれながらに持つ遺伝情報を、少量の血液から知ることができる新時代の検査です。

親から子へ受け継がれた遺伝情報をもとに、科学的に一人ひとりの体質やかかりやすい病気などを解き明かし、人生100年時代の健康寿命の延伸、疾患の予防・早期発見といった医療分野への活用が期待されます。

ゲノムドックの流れ

1. Blood sampling (採血)
2. Sample preparation (DNA調製)
3. Genome analysis (ゲノム解析)
4. Data processing (データ解析)
5. Genomic board (ゲノミックボード)
6. Final report (最終レポート報告)

採血から2~3か月で結果報告となります。

筑波大学附属病院 つくば予防医学研究センター

<https://www.yobou.hosp.tsukuba.ac.jp/genomindex.html>

茨城大学 75th Anniversary

2025年4月 新設!

グリーンバイオテクノロジー研究センター **Gtech**

2020 GLEC 地球・地域環境共創機構

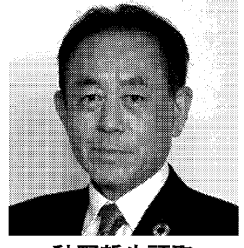
2023 CRERC カーボンリサイクルエネルギー研究センター

2024 RECAS 原子科学研究教育センター

2025

総合気候変動科学をひらく。

常陽銀行

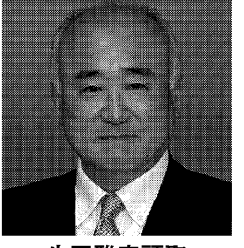


秋野哲也 頭取

「お客さまとの対話を重ね、経営課題の解決をサポート」

常陽銀行は、生きた金融機能を提供し、お客さまの課題を解決し、成長を支援する。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。また、お客さまの課題を解決し、成長を支援する。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。

筑波銀行

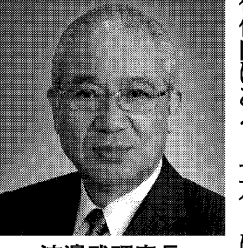


生田雅彦 頭取

「地元中小企業を全力で支援」

筑波銀行は、在野の収益力の改善と、地元中小企業を全力で支援している。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。また、お客さまの課題を解決し、成長を支援する。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。

茨城県信用組合

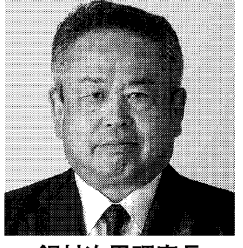


渡邊武理 理事長

「金利上昇の影響を受けている お取引先と深度ある対話」

茨城県信用組合は、物中小・小規模事業者の課題を解決し、成長を支援している。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。また、お客さまの課題を解決し、成長を支援する。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。

水戸信用金庫



飯村次男 理事長

「お客様の経営課題解決に尽力」

水戸信用金庫は、お客様の経営課題を解決し、成長を支援している。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。また、お客さまの課題を解決し、成長を支援する。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。

結城信用金庫



石塚清博 理事長

「お客さまに寄り添った事業者支援」

結城信用金庫は、お客さまに寄り添った事業者支援を行っている。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。また、お客さまの課題を解決し、成長を支援する。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。

商工組合中央金庫



新井竜作 支店長

「県内観光企業を積極的にサポートし、地域経済の未来を拓く」

商工組合中央金庫は、県内観光企業を積極的にサポートし、地域経済の未来を拓く。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。また、お客さまの課題を解決し、成長を支援する。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。

日本政策金融公庫



福岡和樹 支店長

「価格転嫁の進展による業績向上を支援」

日本政策金融公庫は、価格転嫁の進展による業績向上を支援している。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。また、お客さまの課題を解決し、成長を支援する。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。

JAバンク



八木岡秀 会長

「持続可能な農業の実現に向け多様な担い手を支援」

JAバンクは、持続可能な農業の実現に向け多様な担い手を支援している。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。また、お客さまの課題を解決し、成長を支援する。特に、地方創生やデジタル化の推進に力を入れている。

since 1917 **Antex** Turn The World, Turn The Future

素材から「一貫生産」加工まで。

株式会社アンテックス

高萩工場：〒318-0004 茨城県高萩市上手綱3333-24
TEL (0293)23-7511 FAX(0293)23-7515
本社：〒108-0074 東京都港区高輪2-15-19
高輪明光ビル4階
TEL (03)3449-6181 FAX (03)3449-6199

印刷機はぶどうのしぼり機から始まりました。

株式会社 **高野高速印刷**

書籍印刷 / カラー印刷 / 新聞専門書体による印刷
ウェブデザイン / マルチメディアコンテンツ作成

〒310-0853 茨城県水戸市平須町1822-122
Tel▶029-305-5588 Fax▶029-305-5533
E-mail▶tki@atlas.plata.or.jp
URL▶https://www.takano-kousoku.co.jp

地域のために 未来のために

あゆみ

筑波銀行はSDGs推進プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。

筑波銀行

快適な研究・開発環境は **ツジコンの電子デバイス**

ツジ電子株式会社

029-832-3031

ホームページ: http://www.tsujicon.jp

70年の信頼と実績、挑戦するメーカー

株式会社 **高橋電器製作所**

- 大電流短絡閉閉器
- 鮮魚用自動定量器
- 他、各種省力・省人化機器

鮮魚用 定量器

〒317-0054 茨城県日立市本宮町1-1-11
TEL.0294-21-5331 FAX.0294-23-3428

https://www.takahashidenki.co.jp

JOYO BANK **エコサポ**

CO₂排出量算出・管理サービス

POINT 1 シンプルな操作性

POINT 2 常陽銀行のトータルサポート

POINT 3 リーズナブルな料金設定

ステップ1 排出量可視化

ステップ2 削減計画策定

ステップ3 削減計画実行

オフセット

脱炭素経営のスタートは、自社のCO₂排出量の把握(可視化)から! 当社がサポートいたします!!

常陽銀行 MEBUKI